

## 2 農林水産物の品質の安定性の評価

### ・佐渡産米の品質特性

新潟県は全国で最も品質の良い米が産出される地区のひとつです。平成22年の日本穀物協会の米の食味ランキングでは、佐渡地区は、魚沼地区、岩船地区とともに特Aランクを得ています。佐渡地区の特Aランクの獲得は6年連続であることから、佐渡米の品質は高いことが示されています。この研究では、佐渡市内の8地区で生産された米を試料として、物理化学特性や、米飯物性、糊化粘度特性等を評価します。また、水稲の栽培管理方法と米の食味の関係についても研究を進めていきます。

23年度は、玄米粗タンパク質含量、粘り感などいくつかの食味に関する指標について分析を行った結果、若干の地域差が認められました。

## 3 環境保全型農業に基づき農林水産物の市場形成と拡大に関する調査研究

### (1) 制度・経営分析

この研究では、環境保全型農業に取り組む経営体・地域の実態や支援制度を比較分析することにより、環境保全型農業の経営的・制度的成立条件を明らかにします。主に水田稲作を対象とし、佐渡島内における地域間・経営間比較とともに、国内他地域との比較を行います。これらを通じて、環境保全型農業の経営モデル・支援制度モデルを提示します。

23年度は、佐渡島内の農業経営体の現状把握と、既存の制度（朱鷺と暮らす郷づくり認証制度、佐渡版所得補償等）の評価を行いました。その結果、付加価値による高価格販売が実現できない場合には、助成金単価の引き上げを検討する必要があります。

### (2) 消費者行動に基づき認証米販売戦略の検討

米消費者の購買行動の特徴を詳細に分析することで、生物多様性に配慮した米がどのような特徴を持った消費者に購入されるのかを明らかにします。この目的のために、既婚女性を対象としたインターネットアンケート調査を行うとともに、23年以降の米購買履歴データの解析を進めます。

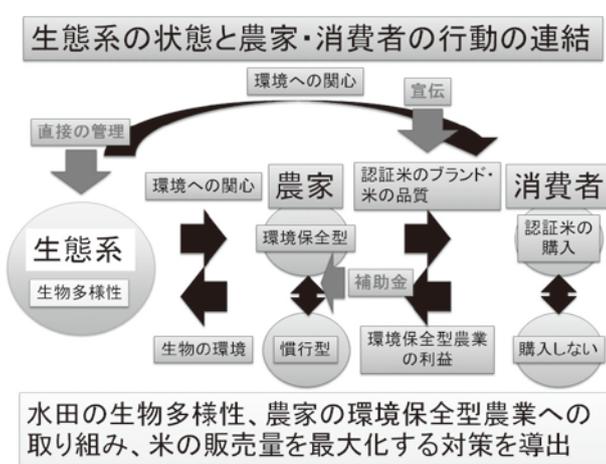
23年度は、米の付加価値、ブランドおよび購入方法が多様化する中で、その特徴や方法により購入形態が異なっていることが明らかになりました。

## 4 農地の順応的管理システムの検証

### ・農地の順応的管理のための数理的研究：生態系動態と人間の選択動態の統合モデル

水田の生物多様性や米の品質の動態と、農業者や米の消費者の選択動態について、どのような要因が関係しているのかという知見に基づいて、生態系動態と人間の選択動態を結合した数理モデルを構築します。この数理モデルの解析により、水田の生物多様性、農家の環境保全型農業への取り組み、米

の販売量を最大化する対策（助成制度、認証米の販売戦略など）を導き出します（図参照）。



### ■おわりに

24年度は、各サブテーマの調査研究をますます充実させるとともに、本講座の狙いである施策提言に向けて、研究成果の統合化を進めます。おりしも36年ぶりの野生下でのトキふ化は、佐渡市において「環境と経済の好循環」を実現する絶好の機会でもあります。幅広い視野を持ちつつ、地域に寄り添い、市民の皆さんの目線で調査研究を行なっていく考えです。新潟大学は「アクション・プラン2012-2013」において自然再生学を目指す

鷺プロジェクトの研究を高度化することを重点的に取り組む事項としていきます。朱鷺プロジェクトを推進するため自然再生学講座をひとつの礎として地域との連携を図りながら、トキの野生復帰およびそれと共生する地域社会づくりを目指し、新たな学際的環境科学として自然再生学を構築していきます。今後とも大学の活動にご理解とご協力をいただけますよう、よろしくご願ひ申し上げます。



寄附講座成果報告の様子 (5月14日、市役所)

◆新潟大学 朱鷺・自然再生学  
研究センター ☎22-3885